

【環境と共に】

2016年度の環境活動実績

エネクスグループでは環境ISOに準拠した環境管理体制を構築することにより、日常の事業活動や業務におけるCO₂排出量削減に取り組んでいます。当社グループは「省エネ法」にも対応し、委託輸送の分野で「特定荷主」、一定

規模以上のエネルギー使用の分野で「特定事業者」として届出をしています。両分野における2016年度の報告内容は表2、表3の通りです。

表1 2016年度 ISO14001活動実績

ISO対象事業所																				
年度	一般電力	動力電力	電力計	都市ガス	LPガス	灯油	重油	燃料計	ガソリン	軽油	オートガス	車両燃料計	CO ₂ 計	コピー用紙	水	産業廃棄物	特別管理産廃	廃棄物計	PRTR	
単位	kWh			m ³		KL		m ³ ・KL		KL		t-CO ₂		千枚/A4換算	m ³	t			t	
対象事業所数(カ所)	2016	104	67	—	1	85	8	8	—	124	48	69	—	—	124	88	93	—	—	39
	2015	124	90	—	4	96	23	8	—	129	45	68	—	—	122	114	106	—	—	43
	2014	103	69	—	1	81	13	8	—	121	44	69	—	—	118	87	102	—	—	34
実績値	2016	2,143	7,169	9,312	0	89	8	1,461	1,558	1,305	516	1,077	2,898	15,527	20,455	41	43,846	10	43,857	9
	2015	2,202	6,464	8,665	0	86	7	1,473	1,566	1,216	485	1,142	2,842	15,292	21,077	33	52,559	18	52,577	9
	2014	2,249	5,682	7,931	0	96	7	1,467	1,570	1,288	490	1,261	3,039	15,501	20,297	35	27,713	25	27,738	6

参考【全事業所】*																				
年度	一般電力	動力電力	電力計	都市ガス	LPガス	灯油	重油	燃料計	ガソリン	軽油	オートガス	車両燃料計	CO ₂ 計	コピー用紙	水	産業廃棄物	特別管理産廃	廃棄物計	PRTR	
単位	kWh			m ³		KL		m ³ ・KL		KL		t-CO ₂		千枚/A4換算	m ³	t			t	
実績値	2016	—	—	365,722	18,418	221	279	1,993	20,911	2,365	709	1,085	4,159	956,000	26,922	108,467	49,334	21	49,355	56
	2015	—	—	215,122	44,430	158	299	7,104	51,991	2,120	681	1,142	3,943	954,000	24,085	106,834	57,748	23	57,772	67

* CO₂換算係数は、省エネ法に基づく年度別の換算値(電力は電力会社別の排出係数)を採用しています。
* グループ会社を含め全事業所でデータ集計を行っており、参考として記載しています。

省エネ法(CO₂削減)への対応報告

表2 特定荷主

(ローリーや船舶等による委託輸送で、年間3,000万トンキロ以上が対象)

年度	2013	2014	2015	2016
輸送トンキロ(千t・km)	773,254	794,162	415,717	542,801
CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	36,173	36,598	21,457	26,949
原単位(輸送量に対し)	0.0173	0.0170	0.0191	0.0184

表3 特定事業者

(会社単位での電気や事業所での燃料使用量が原油換算で年間1,500KL以上が対象)

年度	2013	2014	2015	2016
エネルギー使用量(原油換算KL)	3,022	2,599	2,704	2,536
CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	7,321	6,475	6,658	6,051
原単位(販売量に対し)	0.2085	0.1968	-	-

※2015年度報告より報告方法変更のため、原単位項目の表記無し

サプライチェーンにおけるエコドライブの徹底を支援

当社は改正省エネ法の特定荷主として、取扱製品の輸送に係わるCO₂排出量削減の取り組みを進めています。毎年各地域において、いすゞ自動車販売株式会社、伊藤忠商事株式会社の協力のもと、当社グループ委託輸送業者の代表者、運行管理者、ドライバーの皆さんにご参加いただき、専門家による「エコドライブ講習」を実施。講習を通して輸送時の事故「ゼロ」に向けた安全走行を軸に、アイドリングストップや低燃費走行などに努めるエコドライブの徹底を支援し、サプライチェーン全体にわたり、CO₂削減をはじめとする環境改善活動を継続しています。



2016年度 環境改善計画の実績と評価

エネクスグループの環境方針のもと、グループ全体で取り組む環境改善活動の明確化を図り、3分野8テーマの環境改善計画を策定しました。2016年度の目標、実績は次の通りです。(21項目中、10項目が目標達成)

分野	テーマ	環境目標	単位	計画	実績	活動実績	
低炭素社会の実現に向けての貢献	高度利用	エネファーム(燃料電池)の拡販	台	50	10	販売研修を3回にわたり実施。電力、他機器販売にも注力したため、販売台数は低迷。	
	ビジネス	蓄電池システム(エネバワボS)の販売	台	200	34	補助金制度がなく、販売に注力できなかった。	
		再生可能エネルギーの開発促進	千代田高原本太陽光発電(株)を買収した。その他新たな再生可能エネルギー発電事業の開発に向け取り組み中。				
		再生可能エネルギーの発電促進	MWh	73,992	73,373	3Qにおいて天候が影響した結果、当期目標には若干未達となった。前比115%。	
		アドブルーの販売	KL	41,246	40,007	SCR(尿素還元触媒)普及率60%。前比114%。	
		太陽光発電システムの拡販	台	500	430	産業用の縮小もあり、台数は低迷。	
		電気自動車(リーフ)の販売/普及	台	400	732	1月~3月401台。	
		「Smart Life」キャンペーン	エコジョーズの販売	台	14,658	13,815	電力販売に注力したため、販売低下。2017年度継続して目標設定の予定
		ガラストップコンロの販売	台	18,231	15,069		
	スロップ・再生油の取り組み推進	KL	15,256	3,063	船舶からのスラッジ回収の目標値未達及び再生油需要の低迷及び廃食油事業の進捗遅れによる。前比213%。		
フライアッシュの取り組み推進	t	1,800	1,108	エフイ石炭向け販売が振るわず、下期特に2~3月に挽回するも計画未達。			
地域創生のビジネス展開	とっとり市民電力の電力事業サポート開始。良好な関係を築きながら、継続取引中。鳥取市における雇用創出につなげており、とっとりと同様に、事業(雇用)拡大に向けて取り組める自治体との取引交渉すべく対象先模索中。						
社会貢献	社会貢献活動の計画と実施	ことばの力を楽しむ会 12/17 金沢公演 350名 1/28 東京公演 282名。 アクアカップ 3/20 障がい者の水泳教室参加。 東日本震災復興支援義援金 3/31 1,231千円。					
自らの環境負荷の低減	エコオフィス	一般電力削減	kWh	2,189	2,189	計画通り達成。	
		事業所燃料削減(都市ガス・LPG・灯油)	m ³ ・KL	92	95	目標比3%オーバー。	
		車両燃料削減(ガソリン・軽油・オートガス)	KL	2,862	2,889	目標比1%オーバー。	
		コピー用紙削減(A4換算で購入枚数)	千枚	20,866	20,443	計画通り達成。	
輸送	委託ローリー会社・グループ会社へのエコドライブ研修	5年間で全国の委託運送会社対象のエコドライブ講習が完了。特定荷主としての輸送効率、省エネ向上と受講者からの継続実施の希望もあり、2017年度講習について協力会社と計画。					
環境保全	法規制	施設の事故及び法令違反未然防止	施設点検の結果に基づき、緊急性のあるものは今期実施。他は2017年度での予算化実施。				
	保安	自主保安管理体制の強化	1.AS基地・ターミナル全事業所の保安監査(ターミナル2回/年)及びSOLAS・保税蔵置場内部監査は予定通り完了。保安・安全に関する意識・取り組み状況は昨年度より向上している。 ※ターミナル課:P-D-C-Aサイクル ※2017年度課題:AS自主保安基準・作業マニュアルの改定・ターミナル自主保安基準の策定 2.ELNG販売(株)の自主保安基準策定・運用及びKKEとの相互監査体制の構築完了。(インフルエンザ特措法対応) 3.環境安全月報発信にて「法改正等」情報共有が図れた。				
		自主保安基準に基づき、平準化かつ高度化した保安管理体制による事故防止	エネクス保安監査	47カ所	クロス保安監査	47カ所	自主保安監査